

手作り地図作成のすすめ

—全国の地図作品展を見学して—

帝国書院 地図・地理普及特別班

■地図・地理普及特別班って?

昨年8月、帝国書院に地図・地理普及特別班という部署が新たに発足しました(社内では普及班と呼ばれておりますので、以下普及班とします)。

私たちは、子どもたちにもっともっと「地図や地図帳」を活用していただき、その中で、生涯必要となる地図活用の基本的なスキルを身につけ、世界観を拡げてもらいたいと、強く願っています。

普及班は、そのための具体的な地図指導法を提案し、発信します。地図指導のお手伝いをさせていただくための部署です。

■地図帳以外の地図の指導も大事

子どもたちは、4年生になって教科書としての地図帳を手にする前から、さまざまな地図を目にしています。天気予報の地図、街の地図、生活科での床地図など、地図は子どもたちの身のまわりにあふれています。

このような現実も踏まえると、地図帳を使い始める前の段階から地図に親しませるような指導をする必要があるのではないのでしょうか。

普及班では、地図帳の活用だけでなく、絵地図なども含めた広い意味での地図の活用、指導も勤めていきたいと考えています。

■地図作品展を見学して

現在、子どもたちが作成した絵地図などを集めて作品展(地図作品展)を開催しているところが、全国で何か所があります。地図作品展は、子どもたちの思いが詰まった地図にふれることができる絶好の機会であり、普及班として、昨年の10月から12月にかけて、全国の地図作品展を見学してきました。

広島 の地図作品展を皮切りに、札幌、つくば、北九州、旭川、岐阜、多摩、鳥取、徳島と9か所の地図作品展をまわり、それぞれの地域で、さまざまな工夫を凝らした子どもの手作り地図



徳島県地図作品展の出品作品「大阪大すき」

(板野東小学校 大坂分校 3年生 向井真也、瀬部翔矢、木内結花、佐川実咲、渡邊将大 作)

に巡りあい、また、作成指導に関わられた先生方からも、いろいろとお話を聞くことができました。

実際に子どもたちの作品に接し、その創造(想像)力の豊かさに非常に驚かされました。私たちの想像を越えた力作ぞろいで、どの地域の地図作品展でも新鮮な感動を味わうことができました。

子どもたちは、身近な地域を自分の足で実際に歩いて、発見したもの、気づいたことを、誰かに伝えたくてたまらないという衝動をもっているようです。この発見や気づきは、子どもにとってみれば、一つの宝物なのでしょう。

旭川の環境地図作品展では、子ども自身が自分の作品を、他の子どもたちに紹介する、子どもワークショップを開催しています。自分の作品を紹介する機会を与えられた子どもたちは、照れくささと誇らしさが同居したような表情をのぞかせていました。この経験は、子どもたちにとって、忘れられないものになるでしょう。



ワークショップのようす（旭川地図展ワークショップ）

■地図作りの基本指導をたいせつに

子どもたちは、自分の思いを地図に散りばめるのが、私たちが想像するよりもはるかにじょうずです。しかし、先生（大人）に地図作りの基本的なことをきちんと指導してもらったり、地図作りの経験を何度か積むことで、もっとじょうずになるでしょう。

社会科の一番最初に、学校のまわりのようすを調べて地図にまとめる単元がありますが、この単元の内容が地図作りの基本となり、4年生の地図帳の学習にもつながっていきます。ですから、地図作りの指導をたいせつにしてほしいと思います。

地図作品展出品者にはリピーターが結構いるそうです。そのようなリピーターの作品は、前年に出品されたものよりも、表現面をはじめとして、確実にレベルアップがみられるということです。

岐阜地図作品展の表彰式の後、賞をとった児童とそのご両親に話を聞く機会がありました。この児童も前年に続いて出品したリピーターでした。

この児童が、地図作りを始めたきっかけは、地図作品展の存在を先生に教えられ、勧められたからだそうです。1年目はご

両親に少し手伝ってもらったようですが、出品2年目になる今回は、前回の経験や、ほかの子どもたちが作った地図作品も参考にして、夏休み中にじっくりと地域調査を行って、独力で地図にまとめ上げたそうです。この児童は最後に、「来年のテーマは、もう決まっているんだ」と頼もしい言葉を残してくれました。

■手作り地図作成のすすめ

では、手作り地図を作成することで、どのようなメリットがあるのでしょうか。普及班では、次のようなメリットがあると考えています。

まず第一は、地図の基本的な要素を体験を通して身につけられることです（もちろん本当に身につけるためには、一回きりの指導や経験では駄目ですが）。地図作りには、縮尺の概念、方位、位置関係の把握（空間認識）、記号化、凡例の読み取りなど、地図の基礎・基本に関することがたくさんつまっています。

そして第二に、地域、社会的事象への関心や、地域への愛着を深めることができることでしょう。このことは、指導要領でも再三謳われている部分です。

ほかにも、調査を通して他者との関わりあいを深められたり、調査・表現方法を身につけられるなど、さまざまなメリットがあると考えられます。

手作り地図作りは、社会科だけのものではありません。総合学習のまとめにも地図は大活躍できるのです。地図作りに取り組むことで、子どもの世界はさらに広がっていくのではないのでしょうか。

■普及班よりお知らせ

この文章を読んでいただいて、地図作りに取り組んでいただければ、普及班としてこんなにうれしいことはありません。

近いうちに、地図作品展について特集した冊子をお届けする予定です。この特集号で手作り地図の作り方や、全国の地図作品展のようすを、もう少し詳しく紹介させていただこうと考えています。ご期待ください。